

2025年



二葉幼稚園 園のたより

9月の聖句

主は羊飼。私には何も欠けることがない。

詩編23編1節

9月のさんびか

ちいさいひつじが

こどもさんびか改訂版 55



おもしろそう (年少) ・ 気持ちいい (年中・年長)

8月2日(土)、同園会に121名の小学生が帰ってきました！久しぶりの礼拝。「卒園してもお祈りしてる？」「してな〜い」「皆がお祈りしていなくても神様は皆のことをずっと覚えて愛してくださっているんだよ」山本牧師より穏やかで温かいメッセージを受けた後、全員でのゲームはノリノリ、最後は6年生17名が思い出、現在、未来等、一言ずつ語りました。彼らが年長だった2020年2月27日夕刻、コロナ禍緊急事態宣言発令。3月2日から全国一斉休校休園となったのです。忘れもしない、その日。既に帰路についていた教職員を呼び寄せ「明日、卒園式をしよう！」と即決。夜遅くまで皆でできる限りの準備をし、保護者に連絡をして迎えた翌2月28日臨時卒園式。結果的には3月に卒園式のみ実施可能となり、2回卒園式を挙げる。マスク着用、密回避、短時間条件。式中に卒園児が一人ずつ語る場面は無念ながら割愛したのでした。今回、奇しくも友達と支え合ったり励まし合ったりしながら、とっても大人っぽくなった彼らが「面白い人になりたいです」「今頑張ってます」「幼稚園の全部が楽しかったです」と伝える姿に当時が蘇り、感無量に…。

9月、賑やかな声と共に在園児が様々な思いをもって帰ってきます。先日、義姉から一編の詩(関根一夫作)を紹介されました。

「いてくれてありがとう」

いてくれてありがとう こんな私と一緒にいてくれてありがとう
あなたの微笑み 言い尽くせない感謝をこめて いてくれてありがとう

いてくれてありがとう 涙流した時にもいてくれてありがとう
あなたの励まし 言い尽くせない感謝を込めて いてくれてありがとう

作者と状況は違っても、時として親や保育者が子ども達へ、子ども達が親や先生や友達へ、の思いと重なるように思います。誰しも弱いから頭じゃわかっていても人を傷つけることもあり、心でごめんなさいと呟く時…どんな時も見守ってくださる神様に祈り、気持ちを切り替え、二葉を選んだことで出会えた「あなた」と、2学期もともに歩める幸せを胸に「おもしろそう」とワクワクしながら、友達と一緒に「気持ちいい」体験を綴っていきまじうようにと願います。念願の園庭を覆うUV屋根もあと一息。思いきり外遊びをして、今学期も一人ひとりのふたばっこに新たな煌めく発見を！【園長】